

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課

担当課長名：東 智 徳

事業名 ふなばしあびこばいばすせん 船橋我孫子バイパス線	事業区分 街 路	事業主体 千葉県							
起終点 自：千葉県鎌ヶ谷市東初富4丁目 至：千葉県鎌ヶ谷市初富字五本松	延長 1.3 km								
事業概要 船橋我孫子バイパス線は、鎌ヶ谷市の中心市街地を通過する県道千葉鎌ヶ谷松戸線と県道船橋我孫子線の東武野田線初富踏切周辺で発生してる慢性的交通渋滞の解消を目的に現在整備を進めている。									
S63年度事業化	S39年度都市計画決定 (S62年度変更)	S63年度用地着手	H12年度工事着手						
全体事業費	約128億円	事業進捗率	99%						
計画交通量	12,000台/日								
費用便益比	B / C 5.0	総費用 128億円 (事業費：127.5億円 維持管理費：0.7億円)	総便益 639億円 (走行時間短縮便益：624.3億円 走行費用減少便益：12.7億円 交通事故減少便益：1.9億円)						
		基準年	平成15年						
事業の効果等 ・都市の再生（新鎌ヶ谷特定土地地区画整理地区の沿道まちづくりとの連携あり） ・国土・地域（現道等における交通不能区間を解消する） ・災害への備え（緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する）									
関係する地方公共団体等の意見		事業継続並びに整備促進を希望							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等		本事業に接続して新鎌ヶ谷特定土地地区画整理事業が事業化され、平成17年度には一部街開き予定しており、本事業の必要性が高まっている。							
事業の進捗状況、残事業の内容等									
用地補償については、平成15年度終了予定である。平成15年度末の事業進捗率は99%となっている。									
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等									
用地未買収箇所についても同意を得られるよう交渉し、平成15年度に用地補償を終了、同年度末には本体工事を完成し、早期に供用を図る予定である。									
施設の構造や工法の変更等									
対応方針	事業継続								
対応方針決定の理由									
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。									
事業概要図									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">凡 例</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">事業中</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨</td> </tr> <tr> <td>供用中</td> <td style="text-align: center;">▬▬▬▬▬▬▬▬▬▬</td> </tr> </table>	凡 例		事業中	▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨	供用中	▬▬▬▬▬▬▬▬▬▬			
凡 例									
事業中	▨▨▨▨▨▨▨▨▨▨								
供用中	▬▬▬▬▬▬▬▬▬▬								

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。